

ケースB-2

失業等給付の収支試算

(支出が過去最悪状況 (11年度実績) で推移するケース)

(単位：億円)

	19年度 (実績)	20年度 (予算)	21年度 (試算)	22年度 (試算)	23年度 (試算)	24年度 (試算)	25年度 (試算)
収入	22,214	21,722	15,987	21,303	26,104	25,072	24,086
支出	14,917	16,795	27,806	27,806	27,806	27,806	27,806
差引剰余	7,297	4,927	▲11,820	▲6,503	▲1,702	▲2,735	▲3,720
積立金残高	48,832	53,759	41,939	35,435	33,733	30,998	27,278
弾力倍率	4.51倍	4.05倍	1.17倍	1.12倍	1.24倍	1.10倍	0.92倍

	19年度 (実績)	20年度 (予算)	21年度 (試算)	22年度 (試算)	23年度 (試算)	24年度 (試算)	25年度 (試算)
保険料率	1.2%	1.2%	0.8%	1.2%	1.6%	1.6%	1.6%

(注1) 収入は、19年度は決算額、20年度は予算額、21年度以降は1000分の1当たり保険料(11'実績ベース)×保険料率を主として算出しており、支出は19年度は決算額、20年度は予算額、21年度以降は11年度実績を固定して計上している。

(注2) 保険料率は21年度は0.8%、22年度以降は現行の料率に戻ると仮定して計算している。また、1000分の1当たり保険料は、21年度以降▲4.6%(過去10カ年最低値)ずつ減少すると仮定して計算している。

ケース C

(支出が現状(19'実績)から悪化し、過去最悪水準へ推移するケース)